

対象校No. 96
注4

学校コード F123110106429
注3

意見伺い (JD)

設置年度 令和 4年度
計画の区分： 研究科の専攻の設置又は課程の変更
注1

注2
名古屋大学大学院 工学研究科 名古屋大学・チュラロンコン大学国際連携サステイナブル材料工学専攻

【認可（JD）】設置に係る設置計画履行状況報告書
（改正後大学設置基準適用）
国立大学法人東海国立大学機構
令和6年5月1日現在

作成担当者	
担当部局（課）名	経営企画部経営企画課
職名・氏名	課長・ ^{ヤマモト} 山本 ^{サカエ} 栄
電話番号	052-789-5698
（夜間）	同上
e-mail	keieikikaku_nu@t.thers.ac.jp

- （注）1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
- 2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。
設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、設置時の旧名称を記載してください。
例） 〇〇大学 △△学部 □□学科
（旧名称：◇◇学科（平成◇◇年度より学科名称変更））
表題は「計画の区分」に従い、記入してください。
例）
・大学の設置の場合：「〇〇大学」
・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻（修士課程）」
・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科（通信教育課程）」
- 3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。
なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、当該番号を記載してください。
https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html
- 4 対象校No.については、「【別紙】令和6年度AC報告書提出対象学科等.pdf」より、該当番号を記載してください。

目次

工学研究科

＜名古屋大学・チュラロンコン大学国際連携サステイナブル材料工学専攻＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	6
3. 施設・設備の整備状況、経費	12
4. 既設大学等の状況	13
5. 教育研究実施組織の状況	15
6. 附帯事項等に対する履行状況等	52
7. その他全般的事項	53

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設 置 者

国立大学法人東海国立大学機構

【連携外国大学の設置者】タイ王国

(2) 大 学 名

名古屋大学大学院

【連携外国大学の名称】

Chulalongkorn University (จุฬาลงกรณ์มหาวิทยาลัย)

(3) 調査対象大学等の位置

〒464-8601

愛知県名古屋市千種区不老町

【連携外国大学の本部の位置】

Phayathai Road, Pathumwan, Bangkok 10330 Thailand

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職 名	設 置 時	変 更 状 況	備 考
理 事 長	(マツオ セイイチ) 松 尾 清 一 (令和4年4月)		
大学総括理事	(スギヤマ ナオシ) 杉 山 直 (令和4年4月)		
研究科長	(ミヤザキ セイイチ) 宮 崎 誠 一 (令和3年4月)	(コバシ マコト) 小 橋 眞 (令和6年4月)	前任者の任期満了に伴う 交代 (令和6年4月1日) (6)
専攻長	(サイトウ ナガヒロ) 齋 藤 永 宏 (令和4年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 令和5年度に報告済の内容 → (5)

令和6年度に報告する内容 → (6)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載 (昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正) するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部・学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。
- ・ 様式は、令和元年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合（令和6年度までの6年間）ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5)－① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
工学研究科 名古屋大学・チュ ラロンコン大学国 際連携サステイナ ブル材料工学専攻 博士（工学）	工学関係	3 年	<143> 2 人	2年次 0 人 3年次 0 人 4年次 0 人	<429> 6 人	—	基礎となる学部等 工学関係 連携外国大学との 合計入学定員 5人 合計収容定員15人

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1）又は（その2の2））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・ < >内の数字は、母体となる学部等の全体の入学定員を記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。（学生募集停止を予定していない場合は「—」を選択。）

(5)－② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度 区分	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		春季入学以外の 学期区分につい て	収容定員 充 足 率	収容定員 充 足 率 （控除後）	備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期				
A 入学定員	人 — (—) [—]	人 — (—) [—]	人 — (—) [—]	人 — (—) [—]	人 — (—) [—]	人 — (—) [—]	2 人 (—) [—]	人 — (—) [—]	2 人 (—) [—]	人 — (—) [—]	2 人 (—) [—]	人 — (—) [—]	春季入学以外の 学期区分を設ける 予定	0.50倍	—	※以下、チュラ ロンコン大学に おける入学者の 状況 令和4年8月 1名 令和5年1月 1名 令和5年8月 2名 令和6年1月 1名
志願者数	(—) [—]	(—) [—]	(—) [—]	(—) [—]	(—) [—]	(—) [—]	0 [—]	0 [—]	1 [1]	0 [—]	1 [1]	(—) [—]				
受験者数	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	0 [—]	0 [—]	1 [1]	0 [—]	1 [1]	(—) [—]				
合格者数	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	0 [—]	0 [—]	1 [1]	0 [—]	1 [1]	(—) [—]				
B 入学者数	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	0 [—]	0 [—]	1 [1]	0 [—]	1 [1]	(—) [—]				
入学定員超過率 B／A	—	—	—	—	—	—	0	0	0.50	0.50	0.50	0.50				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ 調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「—」を記入してください。
- ・ （ ）内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。 該当がない年度には「—」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、「春季入学」と「その他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）」に分けて数値を記入してください。「春季入学」のみの実施の場合は、「その他の学期」欄は「—」を記入してください。
- ・ 「春季入学」、「その他の学期」については、各国際連携学科等の入学時期に合わせて表を修正してください。
- （例）「春季入学」→「6月入学」、「10月入学」等 「その他の学期」→「10月入学」等
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。
- なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 報告年度に春季入学以外の学期区分の設定を予定している場合は、「春季入学以外の学期区分について」で「春季入学以外の学期区分を設ける予定」を選択してください。（春季入学以外の学期区分の設定を予定していない場合は「—」を選択。）
- ・ 「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
- 算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引（令和7年度開設用）IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
- なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
- ・ 「収容定員充足率（控除後）」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
- なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「—」としてください。
- ・ 「(5)－② 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等」の「平均入学定員超過率」及び「収容定員充足率」は、「4 既設大学等の状況」A0対象学部学科等の倍率と一致しますので、留意して計算してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	令和元年度		令和２年度		令和３年度		令和４年度		令和５年度		令和６年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
１年次	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	0 [0] (－)	1 [1] (－)	1 [1] (－)	0 [0] (－)	1 [1] (－)	 [] ()	・ 令和４年10月 令和４年４月工学研究科博士後期課程化学システム工学専攻入学者１名 が本専攻１年次へ転専攻（４） ※以下、チュラロンコン大学を主たる大学とする学生の状況 令和４年８月 学生１名が本専攻へ入学（４） 令和５年１月 学生１名が本専攻へ入学（４） 令和５年８月 学生２名が本専攻へ入学（５） 令和６年１月 学生１名が本専攻へ入学（５）
２年次			－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	0 [0] (－)	1 [1] (－)	1 [1] (－)	0 [0] (－)	
３年次					－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	0 [0] (－)	1 [1] (－)	
４年次							－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	
計	[] ()		[] ()		[] ()		1 [1] (－)		2 [2] (－)		3 [3] (－)		

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください)
- ・ []内には、留学生の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「－」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「－」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、「春季入学」と「その他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）」に分けて数値を記入してください。「春季入学」のみの実施の場合は、「その他の学期」欄は「－」を記入してください。
 - ・ 「春季入学」、「その他の学期」については、各国際連携学科等の入学時期に合わせて表を修正してください。
(例) 「春季入学」→「6月入学」、「10月入学」等 「その他の学期」→「10月入学」等
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
令和元年度	- 人	- 人	平成30年度	- 人	- 人	
令和2年度	- 人	- 人	平成30年度	- 人	- 人	
			令和元年度	- 人	- 人	
令和3年度	- 人	- 人	平成30年度	- 人	- 人	
			令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
令和4年度	1 人	0 人	平成30年度	- 人	- 人	
			令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
令和5年度	2 人	0 人	平成30年度	- 人	- 人	
			令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	0 人	0 人	
令和6年度	3 人	0 人	平成30年度	- 人	- 人	
			令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	0 人	0 人	
			令和5年度	0 人	0 人	
合 計		0 人		0 人	0 人	

- (注)・ 数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
 - ・ 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 - ・ 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
 - ・ 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
- (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{1} = \boxed{0} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{2} = \boxed{0} \%$$

【令和6年度】

$$\frac{\text{令和6年度の退学者数(a)}}{\text{令和6年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{3} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

＜名古屋大学・チュラロンコン大学国際連携サステイナブル材料工学専攻

（１）－① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目 区分	授業科目の名称	共同 開設 科目	配 当 年 次	開設大学	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼担
					必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
専 門 科 目	博士論文研究ⅠA		1前	名古屋大学		9		22	21	5	23	0	
	博士論文研究ⅡA		1後	名古屋大学		9		22	21	5	23	0	
	博士論文研究ⅢA		2前	名古屋大学		9		22	21	5	23	0	
	博士論文研究ⅣA		2後	名古屋大学		9		22	21	5	23	0	
	博士論文研究ⅤA		3前	名古屋大学		9		22	21	5	23	0	
	博士論文研究ⅥA		3後	名古屋大学		3		22	21	5	23	0	
	サステイナブル材料システム特別講義		1・2通	名古屋大学		2		1	0	0	0	0	
	小計(7科目)	－			0	50	0	22	21	5	23	0	
専 門 科 目	博士論文研究ⅠB		1前	チュラロンコン大学		9		10	31	25	20	0	
	博士論文研究ⅡB		1後	チュラロンコン大学		9		10	31	25	20	0	
	博士論文研究ⅢB		2前	チュラロンコン大学		9		10	31	25	20	0	
	博士論文研究ⅣB		2後	チュラロンコン大学		9		10	31	25	20	0	
	博士論文研究ⅤB		3前	チュラロンコン大学		9		10	31	25	20	0	
	博士論文研究ⅥB		3後	チュラロンコン大学		3		10	31	25	20	0	
	サステイナブル材料科学特別講義		1・2通	チュラロンコン大学		2		10	31	25	20	0	
	小計(7科目)	－			0	50	0	10	31	25	20	0	
(研究指導)			1-3通	名古屋大学・ チュラロンコン大学				32	52	30	43	0	
合計(14科目)		－			0	100	0	32	52	30	43	0	
卒業要件及び履修方法													
(国際連携サステイナブル材料工学専攻の修了要件) 原則として3年以上在籍し、以下に示す履修方法に従って52単位を修得し、かつ、研究指導を受けた上、博士論文の審査及び試験に合格することを要件とする。 ・名古屋大学を主大学とする学生は、主大学が開講する博士論文研究ⅠA、ⅡA、ⅤA、ⅥA及びサステイナブル材料システム特別講義、副大学が開講する博士論文研究ⅢB、ⅣB及びサステイナブル材料科学特別講義の合計52単位を修得する。 (連携外国大学の修了要件) 原則として3年以上在籍し、以下に示す履修方法に従って52単位を修得し、かつ、研究指導を受けた上、博士論文の審査及び試験に合格することを要件とする。 ・チュラロンコン大学を主大学とする学生は、主大学が開講する博士論文研究ⅠB、ⅡB、ⅤB、ⅥB及びサステイナブル材料科学特別講義、副大学が開講する博士論文研究ⅢA、ⅣA及びサステイナブル材料システム特別講義の合計52単位を修得する。 ※上記に加え、英語試験で一定以上の点数の獲得を必要とする。													

【令和6年度】

科目 区分	授業科目の名称	共同 開設 科目	配 当 年 次	開設大学	単位数			専任教員等の配置					の専任教員以外 を 除く (助 手)
					必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
専 門 科 目	博士論文研究ⅠA		1前	名古屋大学		9		24	24	2	19	0	
	博士論文研究ⅡA		1後	名古屋大学		9		24	24	2	19	0	
	博士論文研究ⅢA		2前	名古屋大学		9		24	24	2	19	0	
	博士論文研究ⅣA		2後	名古屋大学		9		24	24	2	19	0	
	博士論文研究ⅤA		3前	名古屋大学		9		24	24	2	19	0	
	博士論文研究ⅥA		3後	名古屋大学		3		24	24	2	19	0	
	サステイナブル材料システム特別講義		1・2通	名古屋大学		2		1	0	0	0	0	
	小計(7科目)	－			0	50	0	24	24	2	19	0	
専 門 科 目	博士論文研究ⅠB		1前	チュラロンコン大学		9		9	28	23	13	0	
	博士論文研究ⅡB		1後	チュラロンコン大学		9		9	28	23	13	0	
	博士論文研究ⅢB		2前	チュラロンコン大学		9		9	28	23	13	0	
	博士論文研究ⅣB		2後	チュラロンコン大学		9		9	28	23	13	0	
	博士論文研究ⅤB		3前	チュラロンコン大学		9		9	28	23	13	0	
	博士論文研究ⅥB		3後	チュラロンコン大学		3		9	28	23	13	0	
	サステイナブル材料科学特別講義		1・2通	チュラロンコン大学		2		0	1	0	0	0	
	小計(7科目)	－			0	50	0	9	28	23	13	0	
(研究指導)				名古屋大学・ チュラロンコン大学				33	52	25	32	0	
合計(14科目)					0	100	0	33	52	25	32	0	
卒業要件及び履修方法													
(国際連携サステイナブル材料工学専攻の修了要件) 原則として3年以上在籍し、以下に示す履修方法に従って52単位を修得し、かつ、研究指導を受けた上、博士論文の審査及び試験に合格することを要件とする。 ・名古屋大学を主大学とする学生は、主大学が開講する博士論文研究ⅠA、ⅡA、ⅤA、ⅥA及びサステイナブル材料システム特別講義、副大学が開講する博士論文研究ⅢB、ⅣB及びサステイナブル材料科学特別講義の合計52単位を修得する。 (連携外国大学の修了要件) 原則として3年以上在籍し、以下に示す履修方法に従って52単位を修得し、かつ、研究指導を受けた上、博士論文の審査及び試験に合格することを要件とする。 ・チュラロンコン大学を主大学とする学生は、主大学が開講する博士論文研究ⅠB、ⅡB、ⅤB、ⅥB及びサステイナブル材料科学特別講義、副大学が開講する博士論文研究ⅢA、ⅣA及びサステイナブル材料システム特別講義の合計52単位を修得する。 ※上記に加え、英語試験で一定以上の点数の獲得を必要とする。													

【令和5年度】

科目区分	授業科目の名称	共同開設科目	配当年次	開設大学	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
					必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目	博士論文研究ⅠA		1前	名古屋大学		9		24	23	2	20	0	
	博士論文研究ⅡA		1後	名古屋大学		9		24	23	2	20	0	
	博士論文研究ⅢA		2前	名古屋大学		9		24	23	2	20	0	
	博士論文研究ⅣA		2後	名古屋大学		9		24	23	2	20	0	
	博士論文研究ⅤA		3前	名古屋大学		9		24	23	2	20	0	
	博士論文研究ⅥA		3後	名古屋大学		3		24	23	2	20	0	
	サステイナブル材料システム特別講義		1・2	名古屋大学		2		1	0	0	0	0	
	小計(7科目)	-			0	50	0	24	23	2	20	0	
専門科目	博士論文研究ⅠB		1前	チュラロンコン大学		9		9	28	23	13	0	
	博士論文研究ⅡB		1後	チュラロンコン大学		9		9	28	23	13	0	
	博士論文研究ⅢB		2前	チュラロンコン大学		9		9	28	23	13	0	
	博士論文研究ⅣB		2後	チュラロンコン大学		9		9	28	23	13	0	
	博士論文研究ⅤB		3前	チュラロンコン大学		9		9	28	23	13	0	
	博士論文研究ⅥB		3後	チュラロンコン大学		3		9	28	23	13	0	
	サステイナブル材料科学特別講義		1・2	チュラロンコン大学		2		0	1	0	0	0	
	小計(7科目)	-			0	50	0	9	28	23	13	0	
(研究指導)								33	51	25	33	0	
合計(14科目)					0	100	0	33	51	25	33	0	
卒業要件及び履修方法													
(国際連携サステイナブル材料工学専攻の修了要件) 原則として3年以上在籍し、以下に示す履修方法に従って52単位を修得し、かつ、研究指導を受けた上、博士論文の審査及び試験に合格することを要件とする。 ・名古屋大学を主大学とする学生は、主大学が開講する博士論文研究ⅠA、ⅡA、ⅤA、ⅥA及びサステイナブル材料システム特別講義、副大学が開講する博士論文研究ⅢB、ⅣB及びサステイナブル材料科学特別講義の合計52単位を修得する。 (連携外国大学の修了要件) 原則として3年以上在籍し、以下に示す履修方法に従って52単位を修得し、かつ、研究指導を受けた上、博士論文の審査及び試験に合格することを要件とする。 ・チュラロンコン大学を主大学とする学生は、主大学が開講する博士論文研究ⅠB、ⅡB、ⅤB、ⅥB及びサステイナブル材料科学特別講義、副大学が開講する博士論文研究ⅢA、ⅣA及びサステイナブル材料システム特別講義の合計52単位を修得する。 ※上記に加え、英語試験で一定以上の点数の獲得を必要とする。													

【令和4年度】

科目区分	授業科目の名称	共同開設科目	配当年次	開設大学	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
					必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目	博士論文研究ⅠA		1前	名古屋大学		9		22	23	2	18	0	
	博士論文研究ⅡA		1後	名古屋大学		9		22	23	2	18	0	
	博士論文研究ⅢA		2前	名古屋大学		9		22	23	2	18	0	
	博士論文研究ⅣA		2後	名古屋大学		9		22	23	2	18	0	
	博士論文研究ⅤA		3前	名古屋大学		9		22	23	2	18	0	
	博士論文研究ⅥA		3後	名古屋大学		3		22	23	2	18	0	
	サステイナブル材料システム特別講義		1・2	名古屋大学		2		1	0	0	0	0	
	小計(7科目)	-			0	50	0	22	23	2	18	0	
専門科目	博士論文研究ⅠB		1前	チュラロンコン大学		9		9	28	23	13	0	
	博士論文研究ⅡB		1後	チュラロンコン大学		9		9	28	23	13	0	
	博士論文研究ⅢB		2前	チュラロンコン大学		9		9	28	23	13	0	
	博士論文研究ⅣB		2後	チュラロンコン大学		9		9	28	23	13	0	
	博士論文研究ⅤB		3前	チュラロンコン大学		9		9	28	23	13	0	
	博士論文研究ⅥB		3後	チュラロンコン大学		3		9	28	23	13	0	
	サステイナブル材料科学特別講義		1・2	チュラロンコン大学		2		0	1	0	0	0	
	小計(7科目)	-			0	50	0	9	28	23	13	0	
(研究指導)								31	51	25	31	0	
合計(14科目)					0	100	0	31	51	25	31	0	
卒業要件及び履修方法													
(国際連携サステイナブル材料工学専攻の修了要件) 原則として3年以上在籍し、以下に示す履修方法に従って52単位を修得し、かつ、研究指導を受けた上、博士論文の審査及び試験に合格することを要件とする。 ・名古屋大学を主大学とする学生は、主大学が開講する博士論文研究ⅠA、ⅡA、ⅤA、ⅥA及びサステイナブル材料システム特別講義、副大学が開講する博士論文研究ⅢB、ⅣB及びサステイナブル材料科学特別講義の合計52単位を修得する。 (連携外国大学の修了要件) 原則として3年以上在籍し、以下に示す履修方法に従って52単位を修得し、かつ、研究指導を受けた上、博士論文の審査及び試験に合格することを要件とする。 ・チュラロンコン大学を主大学とする学生は、主大学が開講する博士論文研究ⅠB、ⅡB、ⅤB、ⅥB及びサステイナブル材料科学特別講義、副大学が開講する博士論文研究ⅢA、ⅣA及びサステイナブル材料システム特別講義の合計52単位を修得する。 ※上記に加え、英語試験で一定以上の点数の獲得を必要とする。													

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の3)に準じて作成してください。
- なお、設置認可時又は届出時、改正前大学設置基準(令和4年10月1日施行前)に基づき、対象学部等を設置している場合、改正後大学設置基準等(令和4年10月1日施行)の適用以前については、改正前様式第2号(その2の3)に準じて作成してください。
- ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教育課程等の概要」を確認してください。
- ・ 「基幹教員等の配置」欄は、大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は、「専任教員等の配置」としてください。
- ・ 「基幹教員等の配置」欄の「基幹教員以外の教員(助手を除く)」は、大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は、「専任教員以外の教員(助手を除く)」としてください。
- ・ 「認可時又は届出時」には設置認可時又は届出時の授業科目全て(基幹教員(大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は「専任教員」)以外の教員(助手を除く)(改正後大学設置基準等の適用以前は兼任、兼任教員)が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。
- その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
- なお、設置認可時又は届出時、改正前大学設置基準等(令和4年10月1日施行前)に基づき、対象学部等を設置している場合、「認可時又は届出時」の「主要授業科目」欄は削除し、「基幹教員等の配置」欄は「専任教員等の配置」、「基幹教員以外の教員(助手を除く)」欄は「兼任・兼任」としてください。その上で、各年度については、「基幹教員(大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は「専任教員」)」数は、認可時又は届出時の「専任教員」数との比較において変更となっている箇所、「基幹教員以外の教員(助手を除く)(大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は「専任教員以外の教員(助手を除く)」)」数は、認可時又は届出時の「兼任・兼任」数との比較において変更となっている箇所を太字の赤字としてください。
- (専任教員から基幹教員に変更したことをもって太字の赤字とする必要はありません。)
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
- ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
- ・ 不要な年度(令和5年度開設であれば令和4年度以前)の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、旧カリキュラムについても記載してください。その場合は、新カリキュラムを全て記載したのち、最後に記載欄を追加し、年度ごとに記載してください。
- 新旧がある年度については、その別がわかるように各年度の右側に(新)又は(旧)と追記してください。
- (例:記載順)【認可時又は届出時】→【令和6年度】(新)→【令和5年度】(新)→【令和4年度】→【令和3年度】→【令和6年度】(旧)

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和4年度】
名古屋大学 ・就任及び退職により「博士論文研究ⅠA～ⅥA」准教授2増、講師3減、助教5減
チュラロンコン大学 ・退職等により「博士論文研究ⅠB～ⅥB」教授1減、准教授3減、講師2減、助教7減
【令和5年度】
名古屋大学 ・就任及び退職等により「博士論文研究ⅠA～ⅥA」教授2増、助教2増
チュラロンコン大学 ・特になし
【令和6年度】
名古屋大学 ・就任及び退職により「博士論文研究ⅠA～ⅥA」准教授1増、助教1減
チュラロンコン大学 ・特になし

- (注) ・ 2 (1) ① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、基幹専任教員等の配置の変更、主要授業科目の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。また、改正後大学設置基準（令和4年10月1日施行）の適用により、専任教員から基幹教員に変更した場合（例：「専任教員 教授1」から「基幹教員 教授1」に変更）や、兼任・兼任教員から基幹教員以外の教員に変更した場合（例：「兼任教員1」から「基幹教員以外の教員1」に変更）については、記入しないでください。
- ・ 不要な年度（令和5年度開設であれば令和4年度以前）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

	設置時の計画				変更状況				備考
	必修	選択	自由	計（A）	必修	選択	自由	計	
名古屋大学	0 科目	7 科目	0 科目	7 科目	0 科目 []	7 科目 []	0 科目 []	7 科目 []	
チュラロン コン 大学	0 科目	7 科目	0 科目	7 科目	0 科目 []	7 科目 []	0 科目 []	7 科目 []	
共同開設科目	0 科目	0 科目	0 科目	0 科目	0 科目 []	0 科目 []	0 科目 []	0 科目 []	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム（新カリキュラム）の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム（旧カリキュラム）の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

(3) 未開講科目

番号	開設大学	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1	名古屋大学						該当なし
2	チュラロンコン大学						該当なし
3							

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(4) 廃止科目

番号	開設大学	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1	名古屋大学						該当なし
2	チュラロンコン大学						該当なし
3							

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 該当がない場合は「廃止の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目（３）と廃止科目（４）の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計（Ａ）}} = \frac{0}{14} = \boxed{0} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「（３）未開講科目」と「（４）廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考			
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	大学全体 うち附属病院 51,789㎡			
	校舎敷地	729,908 753,624 752,779㎡	0㎡	0㎡	729,908 753,624 752,779㎡				
	そ の 他	2,395,191 2,396,176 2,424,411 2,425,466㎡	0㎡	0㎡	2,395,191 2,424,411 2,425,466㎡				
	合 計	3,125,099 3,149,800 3,178,035 3,178,245㎡	0㎡	0㎡	3,125,099 3,178,035 3,178,245㎡				
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	大学全体			
		481,821 503,967 497,125 485,060㎡ (481,821 503,967 497,125 485,060㎡)	0㎡ (0㎡)	0㎡ (0㎡)	481,821 503,967 497,125 485,060㎡ (481,821 503,967 497,125 485,060㎡)				
(3) 講義室等・新設研究科等の専任教員研究室		講義室	実験・実習室	演習室	新設研究科等の専任教員研究室	大学全体			
		251 245 246 248室	1,355 1,314 1,314 1,225室	93 92 87 89室	8 7 8 6室				
(4) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書		学術雑誌		機械・器具 点	標 本 点		
		〔うち外国書〕 冊	電子図書 〔うち外国書〕	〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕				
	国際連携サステイナブル材料工学専攻	193,421 [110,654] (190,764 [102,904]) (191,743 [104,455]) (191,546 [104,890])	48,830 [36,373] (48,830 [36,373])	2,716 [1,490] (2,694 [1,467]) (2,695 [1,468]) (2,695 [1,469])	265 [243] (257 [250]) (256 [249]) (259 [252])	1093 1224 1155 1105	0 0		
	計	193,421 [110,654] (190,764 [102,904]) (191,743 [104,455]) (191,546 [104,890])	48,830 [36,373] (48,830 [36,373])	2,716 [1,490] (2,694 [1,467]) (2,695 [1,468]) (2,695 [1,469])	265 [243] (257 [250]) (256 [249]) (259 [252])	1093 1224 1155 1105	0 0		
(5) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	
		教員 1 人 当 り 研 究 費 等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円	
		共 同 研 究 費 等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円	
	学生 1 人 当 り 納付金	第 1 年 次	第 2 年 次	第 3 年 次	第 4 年 次	第 5 年 次	第 6 年 次		
		千円	千円	千円	千円	千円	千円		
学生納付金以外の維持方法の概要									

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の2)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

※国際連携学科等に係る申請大学の状況を記載し、連携外国大学の状況は含めないでください。

- ・ 「(4)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には報告年度の5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(6)」を「備考」に赤字で記入してください。
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
- ・ 国立大学については「(5)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大 学 の 名 称	名古屋大学							収容定員充足率0.7倍以下の学科数	0	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	3
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備 考
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度		
文学部	4	125	3年次10	520	学士(文学)	1.10	1.05	-	昭和24	愛知県名古屋市千種区不老町1	
人文学科	4	125	3年次10	520	学士(文学)	1.10	1.05	-	平成8	同上	
教育学部	4	65	3年次10	280	学士(教育学)	1.12	1.08	-	昭和24	愛知県名古屋市千種区不老町1	
人間発達科学科	4	65	3年次10	280	学士(教育学)	1.12	1.08	-	平成9	同上	
法学部	4	150	3年次10	620	学士(法学)	1.09	1.05	-	昭和24	愛知県名古屋市千種区不老町1	
法律・政治学科	4	150	3年次10	620	学士(法学)	1.09	1.05	-	平成9	同上	
経済学部	4	205	3年次10	840	学士(経済学)	1.07	1.03	-	昭和24	愛知県名古屋市千種区不老町1	
経済学科	4	140	-	560	学士(経済学)	1.08	1.04	-	昭和24	同上	
経営学科	4	65	-	260	学士(経済学)	1.06	1.03	-	昭和24	同上	
情報学部	4	135	3年次10	560	学士(情報学)	1.10	1.06	-	平成29	愛知県名古屋市千種区不老町1	
自然情報学科	4	38	3年次4	160	学士(情報学)	1.15	1.12	-	平成29	同上	
人間・社会情報学科	4	38	3年次4	160	学士(情報学)	1.10	1.06	-	平成29	同上	
コンピュータ科学科	4	59	3年次2	240	学士(情報学)	1.16	1.11	-	平成29	同上	
理学部	4	270	-	1,080	学士(理学)	1.11	1.07	-	昭和24	愛知県名古屋市千種区不老町1	
数理学科	4	55	-	220	学士(理学)	1.15	1.09	-	平成7	同上	
物理学科	4	90	-	360	学士(理学)	1.10	1.05	-	昭和24	同上	
化学科	4	50	-	200	学士(理学)	1.14	1.11	-	昭和24	同上	
生命理学科	4	50	-	200	学士(理学)	1.10	1.06	-	平成8	同上	
地球惑星科学科	4	25	-	100	学士(理学)	1.10	1.06	-	平成4	同上	
医学部	4・6	307	2年次4	1,459	学士(医学)	1.05	1.03	令和6	昭和24	-	
					学士(看護学)						
					学士(保健学)						
					学士(リハビ"リテーション学)						
医学科	6	107	2年次4	659	学士(医学)	1.05	1.03	令和6	昭和24	愛知県名古屋市昭和区鶴舞町65	令和4年度編入学定員変更(3年次5名→2年次4名)
保健学科	4	200	-	800	学士(看護学)	1.04	1.02	-	平成9	愛知県名古屋市東区大幸南1-1-20	
					学士(保健学)						
					学士(リハビ"リテーション学)						
工学部	4	680	-	2,720	学士(工学)	1.07	1.03	-	昭和24	愛知県名古屋市千種区不老町1	
物理工学科	4	-	-	-	学士(工学)	-	-	-	平成9	同上	平成29年度より学生募集停止
電気電子・情報工学科	4	-	-	-	学士(工学)	-	-	-	平成7	同上	平成29年度より学生募集停止
環境土木・建築学科	4	-	-	-	学士(工学)	-	-	-	平成8	同上	平成29年度より学生募集停止

化学生命工学科	4	99	—	396	学士 (工学)	1.09	1.05	—	平成29	同上
物理工学科	4	83	—	332	学士 (工学)	1.09	1.02	—	平成29	同上
マテリアル工学科	4	110	—	440	学士 (工学)	1.07	1.02	—	平成29	同上
電気電子情報工学科	4	118	—	472	学士 (工学)	1.07	1.04	—	平成29	同上
機械・航空宇宙工学科	4	150	—	600	学士 (工学)	1.06	1.04	—	平成29	同上
エネルギー理工学科	4	40	—	160	学士 (工学)	1.04	1.02	—	平成29	同上
環境土木・建築学科	4	80	—	320	学士 (工学)	1.07	1.04	—	平成29	同上
農学部								—		
	4	170	—	680	学士 (農学)	1.08	1.06	—	昭和26	愛知県名古屋市千種区不老町 1
	4	35	—	140	学士 (農学)	1.07	1.04	—	平成18	同上
	4	55	—	220	学士 (農学)	1.04	1.02	—	平成18	同上
応用生命科学科	4	80	—	320	学士 (農学)	1.12	1.09	—	平成18	同上
大学全体	4	2,107	3年次 50 2年次 4	8,759	—	—	—	—	—	—

（注）・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校（以下「大学等」という。）について、既に設置している学部等（短期大学、高等専門学校にあっては学科等）の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。（大学院、専攻科及び別科を除く）。なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。

- ・記載項目以外、保護をかけています。不要な行は、「非表示」設定としてください。また、記載する必要がない学校種の記載欄については、「入学定員超過率」及び「収容定員充足率」が0.7倍以下又は1.15倍以上の学科数を記入する項目を「—」とした上で、「非表示」設定としてください。
- ・学部・学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。
履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
- ・本年度A Cの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
- ・「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
開設後、完成年度を迎えていない学科等については、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記載してください。
算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引（令和6年度開設用）IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
- ・「収容定員充足率（控除後）」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「—」としてください。
- ・「収容定員充足率（控除後含む）」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
また、0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、必ず太字にしてください。当該設定は、学科のみとし、学部及び専攻を太字にする必要はありません。
- ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。
- ・「所在地」及び「備考」欄については、セルの結合ではなく、書式設定より設定の上、文字サイズ変更を行ってください。詳しくは、本シート右に記載のコメント機能で操作方法を案内していますのでご参照ください。

5 教育研究実施組織の状況

(1) ー① 担当教員表

<名古屋大学>

【認可時又は届出時】

【令和4年度】

【令和5年度】

【令和6年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月 > 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	アサヒ リョウジ 旭 良司 <令和4年4月> Doctor of Philosophy (米国)
		博士論文研究ⅠA 博士論文研究ⅡA 博士論文研究ⅢA 博士論文研究ⅣA 博士論文研究ⅤA 博士論文研究ⅥA (研究指導)
専	教授	アサチ シンタ 足立 吉隆 <令和4年4月> 博士 (工学)
		博士論文研究ⅠA 博士論文研究ⅡA 博士論文研究ⅢA 博士論文研究ⅣA 博士論文研究ⅤA 博士論文研究ⅥA (研究指導)
専	教授	イチノ リョウイチ 市野 良一 <令和4年4月> 博士 (工学)
		博士論文研究ⅠA 博士論文研究ⅡA 博士論文研究ⅢA 博士論文研究ⅣA 博士論文研究ⅤA 博士論文研究ⅥA (研究指導)
専	教授	イトウ アキラ 井藤 彰 <令和4年4月> 博士 (工学)
		博士論文研究ⅠA 博士論文研究ⅡA 博士論文研究ⅢA 博士論文研究ⅣA 博士論文研究ⅤA 博士論文研究ⅥA (研究指導)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月 > 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	アサヒ リョウジ 旭 良司 <令和4年4月> Doctor of Philosophy (米国)
		博士論文研究ⅠA 博士論文研究ⅡA 博士論文研究ⅢA 博士論文研究ⅣA 博士論文研究ⅤA 博士論文研究ⅥA (研究指導)
専	教授	アサチ シンタ 足立 吉隆 <令和4年4月> 博士 (工学)
		博士論文研究ⅠA 博士論文研究ⅡA 博士論文研究ⅢA 博士論文研究ⅣA 博士論文研究ⅤA 博士論文研究ⅥA (研究指導)
専	教授	イチノ リョウイチ 市野 良一 <令和4年4月> 博士 (工学)
		博士論文研究ⅠA 博士論文研究ⅡA 博士論文研究ⅢA 博士論文研究ⅣA 博士論文研究ⅤA 博士論文研究ⅥA (研究指導)
専	教授	イトウ アキラ 井藤 彰 <令和4年4月> 博士 (工学)
		博士論文研究ⅠA 博士論文研究ⅡA 博士論文研究ⅢA 博士論文研究ⅣA 博士論文研究ⅤA 博士論文研究ⅥA (研究指導)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月 > 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	アサヒ リョウジ 旭 良司 <令和4年4月> Doctor of Philosophy (米国)
		博士論文研究ⅠA 博士論文研究ⅡA 博士論文研究ⅢA 博士論文研究ⅣA 博士論文研究ⅤA 博士論文研究ⅥA (研究指導)
専	教授	アサチ シンタ 足立 吉隆 <令和4年4月> 博士 (工学)
		博士論文研究ⅠA 博士論文研究ⅡA 博士論文研究ⅢA 博士論文研究ⅣA 博士論文研究ⅤA 博士論文研究ⅥA (研究指導)
専	教授	イチノ リョウイチ 市野 良一 <令和4年4月> 博士 (工学)
		博士論文研究ⅠA 博士論文研究ⅡA 博士論文研究ⅢA 博士論文研究ⅣA 博士論文研究ⅤA 博士論文研究ⅥA (研究指導)
専	教授	イトウ アキラ 井藤 彰 <令和4年4月> 博士 (工学)
		博士論文研究ⅠA 博士論文研究ⅡA 博士論文研究ⅢA 博士論文研究ⅣA 博士論文研究ⅤA 博士論文研究ⅥA (研究指導)

教員 区分	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月 > 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	アサヒ リョウジ 旭 良司 <令和4年4月> Doctor of Philosophy (米国)
		博士論文研究ⅠA 博士論文研究ⅡA 博士論文研究ⅢA 博士論文研究ⅣA 博士論文研究ⅤA 博士論文研究ⅥA (研究指導)
専	教授	アサチ シンタ 足立 吉隆 <令和4年4月> 博士 (工学)
		博士論文研究ⅠA 博士論文研究ⅡA 博士論文研究ⅢA 博士論文研究ⅣA 博士論文研究ⅤA 博士論文研究ⅥA (研究指導)
専	教授	イチノ リョウイチ 市野 良一 <令和4年4月> 博士 (工学)
		博士論文研究ⅠA 博士論文研究ⅡA 博士論文研究ⅢA 博士論文研究ⅣA 博士論文研究ⅤA 博士論文研究ⅥA (研究指導)
専	教授	イトウ アキラ 井藤 彰 <令和4年4月> 博士 (工学)
		博士論文研究ⅠA 博士論文研究ⅡA 博士論文研究ⅢA 博士論文研究ⅣA 博士論文研究ⅤA 博士論文研究ⅥA (研究指導)

専	講師	カガワ トオ 小川 登志男 ＜令和4年4月＞ 博士（工学）	博士論文研究ⅠA 博士論文研究ⅡA 博士論文研究ⅢA 博士論文研究ⅣA 博士論文研究ⅤA 博士論文研究ⅥA （研究指導）
専	講師	チー サンウー 蔡 尚佑 ＜令和4年4月＞ 博士（工学）	博士論文研究ⅠA 博士論文研究ⅡA 博士論文研究ⅢA 博士論文研究ⅣA 博士論文研究ⅤA 博士論文研究ⅥA （研究指導）
専	講師	デグチ セイイチ 出口 清一 ＜令和4年4月＞ 博士（工学）	博士論文研究ⅠA 博士論文研究ⅡA 博士論文研究ⅢA 博士論文研究ⅣA 博士論文研究ⅤA 博士論文研究ⅥA （研究指導）
専	講師	フジキ ジュンペイ 藤木 淳平 ＜令和4年4月＞ 博士（工学）	博士論文研究ⅠA 博士論文研究ⅡA 博士論文研究ⅢA 博士論文研究ⅣA 博士論文研究ⅤA 博士論文研究ⅥA （研究指導）

専	講師	カガワ トオ 小川 登志男 ＜令和4年4月＞ 博士（工学）	博士論文研究ⅠA 博士論文研究ⅡA 博士論文研究ⅢA 博士論文研究ⅣA 博士論文研究ⅤA 博士論文研究ⅥA （研究指導）
専	講師	フジキ ジュンペイ 藤木 淳平 ＜令和4年4月＞ 博士（工学）	博士論文研究ⅠA 博士論文研究ⅡA 博士論文研究ⅢA 博士論文研究ⅣA 博士論文研究ⅤA 博士論文研究ⅥA （研究指導）

専	講師	カサハ リョウジ 勝部 涼司 ＜令和6年3月＞ 博士（工学）	博士論文研究ⅠA 博士論文研究ⅡA 博士論文研究ⅢA 博士論文研究ⅣA 博士論文研究ⅤA 博士論文研究ⅥA （研究指導）
専	講師	フジキ ジュンペイ 藤木 淳平 ＜令和4年4月＞ 博士（工学）	博士論文研究ⅠA 博士論文研究ⅡA 博士論文研究ⅢA 博士論文研究ⅣA 博士論文研究ⅤA 博士論文研究ⅥA （研究指導）

専	講師	カサハ リョウジ 勝部 涼司 ＜令和6年3月＞ 博士（工学）	博士論文研究ⅠA 博士論文研究ⅡA 博士論文研究ⅢA 博士論文研究ⅣA 博士論文研究ⅤA 博士論文研究ⅥA （研究指導）
専	講師	フジキ ジュンペイ 藤木 淳平 ＜令和4年4月＞ 博士（工学）	博士論文研究ⅠA 博士論文研究ⅡA 博士論文研究ⅢA 博士論文研究ⅣA 博士論文研究ⅤA 博士論文研究ⅥA （研究指導）

専	講師	モトヤマ ムネカズ 本山 宗主 ＜令和4年4月＞ 博士（エネルギー科学）	
		博士論文研究ⅠA 博士論文研究ⅡA 博士論文研究ⅢA 博士論文研究ⅣA 博士論文研究ⅤA 博士論文研究ⅥA （研究指導）	
専	助教	アベ エイジ 阿部 英嗣 ＜令和4年4月＞ 博士（工学）	
		博士論文研究ⅠA 博士論文研究ⅡA 博士論文研究ⅢA 博士論文研究ⅣA 博士論文研究ⅤA 博士論文研究ⅥA （研究指導）	
専	助教	イシガキ ノリカズ 石垣 範和 ＜令和4年4月＞ 博士（理学）	
		博士論文研究ⅠA 博士論文研究ⅡA 博士論文研究ⅢA 博士論文研究ⅣA 博士論文研究ⅤA 博士論文研究ⅥA （研究指導）	
専	助教	イリザワ トシヒロ 入澤 寿平 ＜令和4年4月＞ 博士（工学）	
		博士論文研究ⅠA 博士論文研究ⅡA 博士論文研究ⅢA 博士論文研究ⅣA 博士論文研究ⅤA 博士論文研究ⅥA （研究指導）	

専	助教	アベ エイジ 阿部 英嗣 ＜令和4年4月＞ 博士（工学）	
		博士論文研究ⅠA 博士論文研究ⅡA 博士論文研究ⅢA 博士論文研究ⅣA 博士論文研究ⅤA 博士論文研究ⅥA （研究指導）	
専	助教	イシガキ ノリカズ 石垣 範和 ＜令和4年4月＞ 博士（理学）	
		博士論文研究ⅠA 博士論文研究ⅡA 博士論文研究ⅢA 博士論文研究ⅣA 博士論文研究ⅤA 博士論文研究ⅥA （研究指導）	

専	助教	アベ エイジ 阿部 英嗣 ＜令和4年4月＞ 博士（工学）	
		博士論文研究ⅠA 博士論文研究ⅡA 博士論文研究ⅢA 博士論文研究ⅣA 博士論文研究ⅤA 博士論文研究ⅥA （研究指導）	
専	助教	アロウアシェール アズハール サルマン エム ALOWASHEEIR Azhar salman m ＜令和5年8月＞ 博士（工学）	
		博士論文研究ⅠA 博士論文研究ⅡA 博士論文研究ⅢA 博士論文研究ⅣA 博士論文研究ⅤA 博士論文研究ⅥA （研究指導）	
専	助教	イシガキ ノリカズ 石垣 範和 ＜令和4年4月＞ 博士（理学）	
		博士論文研究ⅠA 博士論文研究ⅡA 博士論文研究ⅢA 博士論文研究ⅣA 博士論文研究ⅤA 博士論文研究ⅥA （研究指導）	

専	助教	アベ エイジ 阿部 英嗣 ＜令和4年4月＞ 博士（工学）	
		博士論文研究ⅠA 博士論文研究ⅡA 博士論文研究ⅢA 博士論文研究ⅣA 博士論文研究ⅤA 博士論文研究ⅥA （研究指導）	
専	助教	アロウアシェール アズハール サルマン エム ALOWASHEEIR Azhar salman m ＜令和5年8月＞ 博士（工学）	
		博士論文研究ⅠA 博士論文研究ⅡA 博士論文研究ⅢA 博士論文研究ⅣA 博士論文研究ⅤA 博士論文研究ⅥA （研究指導）	
専	助教	イシガキ ノリカズ 石垣 範和 ＜令和4年4月＞ 博士（理学）	
		博士論文研究ⅠA 博士論文研究ⅡA 博士論文研究ⅢA 博士論文研究ⅣA 博士論文研究ⅤA 博士論文研究ⅥA （研究指導）	

専 (調)	助教	チョークラッドシ' ャルン チヤヤナハ' ャット CHOKRADJAROEN Chayanaphat ＜令和4年4月＞ Doctor of Philosophy (タイ)
		博士論文研究ⅠA 博士論文研究ⅡA 博士論文研究ⅢA 博士論文研究ⅣA 博士論文研究ⅤA 博士論文研究ⅥA (研究指導)
専	助教	トクカ' トモハル 徳永 智春 ＜令和4年4月＞ 博士 (工学)
		博士論文研究ⅠA 博士論文研究ⅡA 博士論文研究ⅢA 博士論文研究ⅣA 博士論文研究ⅤA 博士論文研究ⅥA (研究指導)
専	助教	ナカムラ マキ 中村 (竹内) 真季 ＜令和4年4月＞ 博士 (科学)
		博士論文研究ⅠA 博士論文研究ⅡA 博士論文研究ⅢA 博士論文研究ⅣA 博士論文研究ⅤA 博士論文研究ⅥA (研究指導)
専	助教	ハギ' オ タシ 萩尾 健史 ＜令和4年4月＞ 博士 (工学)
		博士論文研究ⅠA 博士論文研究ⅡA 博士論文研究ⅢA 博士論文研究ⅣA 博士論文研究ⅤA 博士論文研究ⅥA (研究指導)
専	助教	ハツトリ マサトモ 服部 将朋 ＜令和4年4月＞ 博士 (工学)
		博士論文研究ⅠA 博士論文研究ⅡA 博士論文研究ⅢA 博士論文研究ⅣA 博士論文研究ⅤA 博士論文研究ⅥA (研究指導)

専 (調)	助教	チョークラッドシ' ャルン チヤヤナハ' ャット CHOKRADJAROEN Chayanaphat ＜令和4年4月＞ Doctor of Philosophy (タイ)
		博士論文研究ⅠA 博士論文研究ⅡA 博士論文研究ⅢA 博士論文研究ⅣA 博士論文研究ⅤA 博士論文研究ⅥA (研究指導)
専	助教	トクカ' トモハル 徳永 智春 ＜令和4年4月＞ 博士 (工学)
		博士論文研究ⅠA 博士論文研究ⅡA 博士論文研究ⅢA 博士論文研究ⅣA 博士論文研究ⅤA 博士論文研究ⅥA (研究指導)
専	助教	
専	助教	ハギ' オ タシ 萩尾 健史 ＜令和4年4月＞ 博士 (工学)
		博士論文研究ⅠA 博士論文研究ⅡA 博士論文研究ⅢA 博士論文研究ⅣA 博士論文研究ⅤA 博士論文研究ⅥA (研究指導)
専	助教	ハツトリ マサトモ 服部 将朋 ＜令和4年4月＞ 博士 (工学)
		博士論文研究ⅠA 博士論文研究ⅡA 博士論文研究ⅢA 博士論文研究ⅣA 博士論文研究ⅤA 博士論文研究ⅥA (研究指導)

専 (調)	助教	チョークラッドシ' ャルン チヤヤナハ' ャット CHOKRADJAROEN Chayanaphat ＜令和4年4月＞ Doctor of Philosophy (タイ)
		博士論文研究ⅠA 博士論文研究ⅡA 博士論文研究ⅢA 博士論文研究ⅣA 博士論文研究ⅤA 博士論文研究ⅥA (研究指導)
専	助教	トクカ' トモハル 徳永 智春 ＜令和4年4月＞ 博士 (工学)
		博士論文研究ⅠA 博士論文研究ⅡA 博士論文研究ⅢA 博士論文研究ⅣA 博士論文研究ⅤA 博士論文研究ⅥA (研究指導)
専	助教	
専	助教	ハギ' オ タシ 萩尾 健史 ＜令和4年4月＞ 博士 (工学)
		博士論文研究ⅠA 博士論文研究ⅡA 博士論文研究ⅢA 博士論文研究ⅣA 博士論文研究ⅤA 博士論文研究ⅥA (研究指導)
専	助教	ハツトリ マサトモ 服部 将朋 ＜令和4年4月＞ 博士 (工学)
		博士論文研究ⅠA 博士論文研究ⅡA 博士論文研究ⅢA 博士論文研究ⅣA 博士論文研究ⅤA 博士論文研究ⅥA (研究指導)

専 (調)	助教	チョークラッドシ' ャルン チヤヤナハ' ャット CHOKRADJAROEN Chayanaphat ＜令和4年4月＞ Doctor of Philosophy (タイ)
		博士論文研究ⅠA 博士論文研究ⅡA 博士論文研究ⅢA 博士論文研究ⅣA 博士論文研究ⅤA 博士論文研究ⅥA (研究指導)
専	助教	トクカ' トモハル 徳永 智春 ＜令和4年4月＞ 博士 (工学)
		博士論文研究ⅠA 博士論文研究ⅡA 博士論文研究ⅢA 博士論文研究ⅣA 博士論文研究ⅤA 博士論文研究ⅥA (研究指導)
専	助教	
専	助教	ハギ' オ タシ 萩尾 健史 ＜令和4年4月＞ 博士 (工学)
		博士論文研究ⅠA 博士論文研究ⅡA 博士論文研究ⅢA 博士論文研究ⅣA 博士論文研究ⅤA 博士論文研究ⅥA (研究指導)
専	助教	

専	助教	ユカフ ヒロシ 湯川 宏 ＜令和4年4月＞ 博士（工学）
		博士論文研究ⅠA 博士論文研究ⅡA 博士論文研究ⅢA 博士論文研究ⅣA 博士論文研究ⅤA 博士論文研究ⅥA （研究指導）
専	助教	リン ハオシェン LIN Haosheng ＜令和4年4月＞ 博士（工学）
		博士論文研究ⅠA 博士論文研究ⅡA 博士論文研究ⅢA 博士論文研究ⅣA 博士論文研究ⅤA 博士論文研究ⅥA （研究指導）

専	助教	ユカフ ヒロシ 湯川 宏 ＜令和4年4月＞ 博士（工学）
		博士論文研究ⅠA 博士論文研究ⅡA 博士論文研究ⅢA 博士論文研究ⅣA 博士論文研究ⅤA 博士論文研究ⅥA （研究指導）

専	助教	ユカフ ヒロシ 湯川 宏 ＜令和4年4月＞ 博士（工学）
		博士論文研究ⅠA 博士論文研究ⅡA 博士論文研究ⅢA 博士論文研究ⅣA 博士論文研究ⅤA 博士論文研究ⅥA （研究指導）

専	助教	ユカフ ヒロシ 湯川 宏 ＜令和4年4月＞ 博士（工学）
		博士論文研究ⅠA 博士論文研究ⅡA 博士論文研究ⅢA 博士論文研究ⅣA 博士論文研究ⅤA 博士論文研究ⅥA （研究指導）

＜チュラロンコン大学＞

【認可時又は届出時】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 （年 齢） ＜就任（予定）年月 ＞
		担当授業科目名
外国	教授 相当	ブンヤラッハ キ ティヤナン Boonyarach Kitiyanan ＜令和4年4月＞
		博士論文研究ⅠB 博士論文研究ⅡB 博士論文研究ⅢB 博士論文研究ⅣB 博士論文研究ⅤB 博士論文研究ⅥB （研究指導）
外国	教授 相当	チャワリット ンガム チャルスリヴィチェ Chawalit Ngamcharussrivichai ＜令和4年4月＞
		博士論文研究ⅠB 博士論文研究ⅡB 博士論文研究ⅢB 博士論文研究ⅣB 博士論文研究ⅤB 博士論文研究ⅥB （研究指導）
外国	教授 相当	ナピダ・ヒンチラン Napida Hinchiranan ＜令和4年4月＞
		博士論文研究ⅠB 博士論文研究ⅡB 博士論文研究ⅢB 博士論文研究ⅣB 博士論文研究ⅤB 博士論文研究ⅥB （研究指導）

【令和４年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 （年 齢） ＜就任（予定）年月 ＞
		担当授業科目名
外国	教授 相当	ブンヤラッハ キ ティヤナン Boonyarach Kitiyanan ＜令和4年4月＞
		博士論文研究ⅠB 博士論文研究ⅡB 博士論文研究ⅢB 博士論文研究ⅣB 博士論文研究ⅤB 博士論文研究ⅥB （研究指導）
外国	教授 相当	チャワリット ンガム チャルスリヴィチェ Chawalit Ngamcharussrivichai ＜令和4年4月＞
		博士論文研究ⅠB 博士論文研究ⅡB 博士論文研究ⅢB 博士論文研究ⅣB 博士論文研究ⅤB 博士論文研究ⅥB （研究指導）
外国	教授 相当	ナピダ・ヒンチラン Napida Hinchiranan ＜令和4年4月＞
		博士論文研究ⅠB 博士論文研究ⅡB 博士論文研究ⅢB 博士論文研究ⅣB 博士論文研究ⅤB 博士論文研究ⅥB （研究指導）

【令和５年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 （年 齢） ＜就任（予定）年月 ＞
		担当授業科目名
外国	教授 相当	ブンヤラッハ キ ティヤナン Boonyarach Kitiyanan ＜令和4年4月＞
		博士論文研究ⅠB 博士論文研究ⅡB 博士論文研究ⅢB 博士論文研究ⅣB 博士論文研究ⅤB 博士論文研究ⅥB （研究指導）
外国	教授 相当	チャワリット ンガム チャルスリヴィチェ Chawalit Ngamcharussrivichai ＜令和4年4月＞
		博士論文研究ⅠB 博士論文研究ⅡB 博士論文研究ⅢB 博士論文研究ⅣB 博士論文研究ⅤB 博士論文研究ⅥB （研究指導）
外国	教授 相当	ナピダ・ヒンチラン Napida Hinchiranan ＜令和4年4月＞
		博士論文研究ⅠB 博士論文研究ⅡB 博士論文研究ⅢB 博士論文研究ⅣB 博士論文研究ⅤB 博士論文研究ⅥB （研究指導）

【令和６年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 （年 齢） ＜就任（予定）年月 ＞
		担当授業科目名
外国	教授 相当	ブンヤラッハ キ ティヤナン Boonyarach Kitiyanan ＜令和4年4月＞
		博士論文研究ⅠB 博士論文研究ⅡB 博士論文研究ⅢB 博士論文研究ⅣB 博士論文研究ⅤB 博士論文研究ⅥB （研究指導）
外国	教授 相当	チャワリット ンガム チャルスリヴィチェ Chawalit Ngamcharussrivichai ＜令和4年4月＞
		博士論文研究ⅠB 博士論文研究ⅡB 博士論文研究ⅢB 博士論文研究ⅣB 博士論文研究ⅤB 博士論文研究ⅥB （研究指導）
外国	教授 相当	ナピダ・ヒンチラン Napida Hinchiranan ＜令和4年4月＞
		博士論文研究ⅠB 博士論文研究ⅡB 博士論文研究ⅢB 博士論文研究ⅣB 博士論文研究ⅤB 博士論文研究ⅥB （研究指導）

[illegible]

外国	助教 相当	チャヤニト アサワタ ン・トラクルディ Chayanit Asawatangtrakuldee ＜令和4年4月＞	博士論文研究ⅠB 博士論文研究ⅡB 博士論文研究ⅢB 博士論文研究ⅣB 博士論文研究ⅤB 博士論文研究ⅥB （研究指導）
外国	助教 相当	ジッティ カセム チェーン Jitti Kasemchainan ＜令和4年4月＞	博士論文研究ⅠB 博士論文研究ⅡB 博士論文研究ⅢB 博士論文研究ⅣB 博士論文研究ⅤB 博士論文研究ⅥB （研究指導）
外国	助教 相当	マナスウィー スッ ティポン Manaswee Suttipong ＜令和4年4月＞	博士論文研究ⅠB 博士論文研究ⅡB 博士論文研究ⅢB 博士論文研究ⅣB 博士論文研究ⅤB 博士論文研究ⅥB （研究指導）
外国	助教 相当	ナサポル ピントウヨ シン Nathapol Pintuyothin ＜令和4年4月＞	博士論文研究ⅠB 博士論文研究ⅡB 博士論文研究ⅢB 博士論文研究ⅣB 博士論文研究ⅤB 博士論文研究ⅥB （研究指導）
外国	助教 相当	ナツタポル プトラク ルチョート Nuttapol Pootrakulchote ＜令和4年4月＞	博士論文研究ⅠB 博士論文研究ⅡB 博士論文研究ⅢB 博士論文研究ⅣB 博士論文研究ⅤB 博士論文研究ⅥB （研究指導）
外国	助教 相当	オラピン ワナデロ ク Orapin Wannadelok ＜令和4年4月＞	博士論文研究ⅠB 博士論文研究ⅡB 博士論文研究ⅢB 博士論文研究ⅣB 博士論文研究ⅤB 博士論文研究ⅥB （研究指導）

外国	助教 相当	チャヤニト アサワタ ン・トラクルディ Chayanit Asawatangtrakuldee ＜令和4年4月＞	博士論文研究ⅠB 博士論文研究ⅡB 博士論文研究ⅢB 博士論文研究ⅣB 博士論文研究ⅤB 博士論文研究ⅥB （研究指導）
外国	助教 相当	ジッティ カセム チェーン Jitti Kasemchainan ＜令和4年4月＞	博士論文研究ⅠB 博士論文研究ⅡB 博士論文研究ⅢB 博士論文研究ⅣB 博士論文研究ⅤB 博士論文研究ⅥB （研究指導）
外国	助教 相当	マナスウィー スッ ティポン Manaswee Suttipong ＜令和4年4月＞	博士論文研究ⅠB 博士論文研究ⅡB 博士論文研究ⅢB 博士論文研究ⅣB 博士論文研究ⅤB 博士論文研究ⅥB （研究指導）
外国			
外国			
外国			

外国	助教 相当	チャヤニト アサワタ ン・トラクルディ Chayanit Asawatangtrakuldee ＜令和4年4月＞	博士論文研究ⅠB 博士論文研究ⅡB 博士論文研究ⅢB 博士論文研究ⅣB 博士論文研究ⅤB 博士論文研究ⅥB （研究指導）
外国	助教 相当	ジッティ カセム チェーン Jitti Kasemchainan ＜令和4年4月＞	博士論文研究ⅠB 博士論文研究ⅡB 博士論文研究ⅢB 博士論文研究ⅣB 博士論文研究ⅤB 博士論文研究ⅥB （研究指導）
外国	助教 相当	マナスウィー スッ ティポン Manaswee Suttipong ＜令和4年4月＞	博士論文研究ⅠB 博士論文研究ⅡB 博士論文研究ⅢB 博士論文研究ⅣB 博士論文研究ⅤB 博士論文研究ⅥB （研究指導）
外国			
外国			

外国	助教 相当	オラタイ ブンダムノ エン Orathai Boondamnoen ＜令和4年4月＞	博士論文研究ⅠB 博士論文研究ⅡB 博士論文研究ⅢB 博士論文研究ⅣB 博士論文研究ⅤB 博士論文研究ⅥB （研究指導）
外国	助教 相当	ランシマ チャン ファナ Rangsima Chanphana ＜令和4年4月＞	博士論文研究ⅠB 博士論文研究ⅡB 博士論文研究ⅢB 博士論文研究ⅣB 博士論文研究ⅤB 博士論文研究ⅥB （研究指導）
外国	助教 相当	ルジコン ダナウイ タヤボル Rujikorn Dhanawittayapol ＜令和4年4月＞	博士論文研究ⅠB 博士論文研究ⅡB 博士論文研究ⅢB 博士論文研究ⅣB 博士論文研究ⅤB 博士論文研究ⅥB （研究指導）
外国	助教 相当	サリンポルン キ ティワタナクル Salinporn Kittiwatanakul ＜令和4年4月＞	博士論文研究ⅠB 博士論文研究ⅡB 博士論文研究ⅢB 博士論文研究ⅣB 博士論文研究ⅤB 博士論文研究ⅥB （研究指導）
外国	助教 相当	サンティボン ボリ バルン Santipong Boribarn ＜令和4年4月＞	博士論文研究ⅠB 博士論文研究ⅡB 博士論文研究ⅢB 博士論文研究ⅣB 博士論文研究ⅤB 博士論文研究ⅥB （研究指導）
外国	助教 相当	ソムリット ウォン マネロド Somrit Wongmanerod ＜令和4年4月＞	博士論文研究ⅠB 博士論文研究ⅡB 博士論文研究ⅢB 博士論文研究ⅣB 博士論文研究ⅤB 博士論文研究ⅥB （研究指導）

外国	助教 相当	オラタイ ブンダムノ エン Orathai Boondamnoen ＜令和4年4月＞	博士論文研究ⅠB 博士論文研究ⅡB 博士論文研究ⅢB 博士論文研究ⅣB 博士論文研究ⅤB 博士論文研究ⅥB （研究指導）
外国	講師 相当	ランシマ チャン ファナ Rangsima Chanphana ＜令和4年4月＞	博士論文研究ⅠB 博士論文研究ⅡB 博士論文研究ⅢB 博士論文研究ⅣB 博士論文研究ⅤB 博士論文研究ⅥB （研究指導）
外国	講師 相当	サリンポルン キ ティワタナクル Salinporn Kittiwatanakul ＜令和4年4月＞	博士論文研究ⅠB 博士論文研究ⅡB 博士論文研究ⅢB 博士論文研究ⅣB 博士論文研究ⅤB 博士論文研究ⅥB （研究指導）

外国	助教 相当	オラタイ ブンダムノ エン Orathai Boondamnoen ＜令和4年4月＞	博士論文研究ⅠB 博士論文研究ⅡB 博士論文研究ⅢB 博士論文研究ⅣB 博士論文研究ⅤB 博士論文研究ⅥB （研究指導）
外国	講師 相当	ランシマ チャン ファナ Rangsima Chanphana ＜令和4年4月＞	博士論文研究ⅠB 博士論文研究ⅡB 博士論文研究ⅢB 博士論文研究ⅣB 博士論文研究ⅤB 博士論文研究ⅥB （研究指導）
外国	講師 相当	サリンポルン キ ティワタナクル Salinporn Kittiwatanakul ＜令和4年4月＞	博士論文研究ⅠB 博士論文研究ⅡB 博士論文研究ⅢB 博士論文研究ⅣB 博士論文研究ⅤB 博士論文研究ⅥB （研究指導）

			外国	助教 相当	Thiparat Chotibut ＜令和4年4月＞	外国	助教 相当	Thiparat Chotibut ＜令和4年4月＞	外国	助教 相当	Thiparat Chotibut ＜令和4年4月＞
					博士論文研究ⅠB 博士論文研究ⅡB 博士論文研究ⅢB 博士論文研究ⅣB 博士論文研究ⅤB 博士論文研究ⅥB (研究指導)			博士論文研究ⅠB 博士論文研究ⅡB 博士論文研究ⅢB 博士論文研究ⅣB 博士論文研究ⅤB 博士論文研究ⅥB (研究指導)			博士論文研究ⅠB 博士論文研究ⅡB 博士論文研究ⅢB 博士論文研究ⅣB 博士論文研究ⅤB 博士論文研究ⅥB (研究指導)
			外国	助教 相当	Yuttana Roongthumskul ＜令和4年4月＞	外国	助教 相当	Yuttana Roongthumskul ＜令和4年4月＞	外国	助教 相当	Yuttana Roongthumskul ＜令和4年4月＞
					博士論文研究ⅠB 博士論文研究ⅡB 博士論文研究ⅢB 博士論文研究ⅣB 博士論文研究ⅤB 博士論文研究ⅥB (研究指導)			博士論文研究ⅠB 博士論文研究ⅡB 博士論文研究ⅢB 博士論文研究ⅣB 博士論文研究ⅤB 博士論文研究ⅥB (研究指導)			博士論文研究ⅠB 博士論文研究ⅡB 博士論文研究ⅢB 博士論文研究ⅣB 博士論文研究ⅤB 博士論文研究ⅥB (研究指導)
			外国	助教 相当	Orathai Boondamnoen ＜令和4年4月＞	外国	助教 相当	Orathai Boondamnoen ＜令和4年4月＞	外国	助教 相当	Orathai Boondamnoen ＜令和4年4月＞
					博士論文研究ⅠB 博士論文研究ⅡB 博士論文研究ⅢB 博士論文研究ⅣB 博士論文研究ⅤB 博士論文研究ⅥB (研究指導)			博士論文研究ⅠB 博士論文研究ⅡB 博士論文研究ⅢB 博士論文研究ⅣB 博士論文研究ⅤB 博士論文研究ⅥB (研究指導)			博士論文研究ⅠB 博士論文研究ⅡB 博士論文研究ⅢB 博士論文研究ⅣB 博士論文研究ⅤB 博士論文研究ⅥB (研究指導)
			外国	助教 相当	Chatr Panithipongwut Kowalski ＜令和4年4月＞	外国	助教 相当	Chatr Panithipongwut Kowalski ＜令和4年4月＞	外国	助教 相当	Chatr Panithipongwut Kowalski ＜令和4年4月＞
					博士論文研究ⅠB 博士論文研究ⅡB 博士論文研究ⅢB 博士論文研究ⅣB 博士論文研究ⅤB 博士論文研究ⅥB (研究指導)			博士論文研究ⅠB 博士論文研究ⅡB 博士論文研究ⅢB 博士論文研究ⅣB 博士論文研究ⅤB 博士論文研究ⅥB (研究指導)			博士論文研究ⅠB 博士論文研究ⅡB 博士論文研究ⅢB 博士論文研究ⅣB 博士論文研究ⅤB 博士論文研究ⅥB (研究指導)
			外国	講師 相当	Manit Nithitanakul ＜令和4年4月＞	外国	講師 相当	Manit Nithitanakul ＜令和4年4月＞	外国	講師 相当	Manit Nithitanakul ＜令和4年4月＞
					博士論文研究ⅠB 博士論文研究ⅡB 博士論文研究ⅢB 博士論文研究ⅣB 博士論文研究ⅤB 博士論文研究ⅥB (研究指導)			博士論文研究ⅠB 博士論文研究ⅡB 博士論文研究ⅢB 博士論文研究ⅣB 博士論文研究ⅤB 博士論文研究ⅥB (研究指導)			博士論文研究ⅠB 博士論文研究ⅡB 博士論文研究ⅢB 博士論文研究ⅣB 博士論文研究ⅤB 博士論文研究ⅥB (研究指導)

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)又は(その2の2)に準じて作成してください。
 なお、設置認可時又は届出時、改正前大学設置基準等(令和4年10月1日施行前)に基づき、対象学部等を設置している場合、改正後大学設置基準等(令和4年10月1日施行)の適用以前については、改正前様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教員名簿」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には設置認可時又は届出時の教員全て(基幹教員(大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は「専任教員」)以外の教員(改正後大学設置基準等の適用以前は兼任、兼担教員)を含む。)を黒字で記入してください。
 その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字**としてください。
 - ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
 - ・ 記載は、設置認可時又は届出時における「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教員名簿」に記載されている「教員区分」(改正後大学設置基準等の適用以前は「専任等区分」)の順に記入してください。
 - ・ 改正後大学設置基準等(令和4年10月1日施行)の適用以降については、主要授業科目にあたる「担当授業科目名」に下線を引いてください。
 - ・ 教員がサバティカル等で不在の期間がある場合、その期間(年月日)を上段「学位」の下へ記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和5年度開設であれば令和4年度以前)の表は適宜削除してください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

＜名古屋大学＞

【令和４年度】

- ・令和３年９月 出口 清一講師就任辞退。
- ・令和４年２月 WANG Zhilei助教就任辞退。
- ・令和４年３月 一木 輝久准教授就任辞退。
- ・令和４年３月 本山 宗主講師就任辞退。
- ・令和４年３月 蔡 尚佑講師就任辞任により、澤田 康之准教授に変更。
- ・令和４年３月 入澤 寿平助教就任辞退。
- ・令和４年３月 中村（竹内）真季助教就任辞退。
- ・令和４年４月 町田 洋助教が准教授に昇任昇格。
- ・令和４年10月 LIN Haosheng助教辞退。
- ・令和５年３月 乗松 航准教授、小川 登志男講師、後藤 和泰助教辞任。
- 大戸 達彦准教授就任。

【令和５年度】

- ・令和５年４月 山内 悠輔教授、矢島 健准教授、CHEN Ta te助教就任。
- 田川（岡田）美穂准教授が教授に昇任。
- ・令和５年５月 上岡 直樹助教就任。
- ・令和５年８月 ALLOWASHEEIR Azhar salman m助教就任。
- ・令和５年９月 朝倉 裕介准教授就任。
- ・令和６年３月 服部 将朋助教辞任。
- 勝部 涼司講師就任。

【令和６年度】

- ・令和６年４月 沓掛 健太郎准教授就任。

＜チュラロンコン大学＞

【令和４年度】

- ・以下担当教員退職による変更
Boonchoat Paosawatyanyong准教授相当、Burin Asavapibhop講師相当
- ・以下職名の変更
Rangsima Chanphana講師相当、Salinporn Kittiwatanakul講師相当、Teerawat Sema講師相当
- ・以下担当教員見直しによる追加
Manit Nithitanakul講師相当、Pichaya In-naB助教相当、Thiparat Chotibut助教相当、Yuttana Roongthumskul助教相当、Orathai Boondamnoen助教相当、Chatr Panithipongwut Kowalski助教相当。
- ・以下担当教員見直しによる削除
Tharapong Vitidsant教授相当、Somchai Kiatgamolchai准教授相当、Tonphong Kaewkongka准教授相当、Manit Nithitanakul講師相当、Nuttakorn Thubthong講師相当、Paisan Tooprakai講師相当、Pawin Ittisamai講師相当、Varakorn Hengpunya講師相当、Chatchai Srinitiwarawong助教相当、Nathapol Pintuyothin助教相当、Nuttapol Pootrakulchote助教相当、Orapin Wannadelok助教相当、Rujikorn Dhanawittayapol助教相当、Santipong Boribarn助教相当、Somrit Wongmanerod助教相当、Sujarinee Sinchai助教相当、Wuttichai Reainthippayasakul助教相当

【令和５年度】

特になし。

【令和６年度】

特になし。

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の基幹（専任）教員を変更する場合は**、当該基幹（専任）教員が授業を開始する前に必ず「基幹（専任）教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（ＡＣ教員審査）を受けてください。
原則としてＡＣ教員審査を受けずに基幹（専任）教員として授業等を担当することは出来ません。
なお、改正前大学設置基準等に基づいて認可を受けて設置された学部等が、改正後大学設置基準等への適用のため、大学が基幹教員の要件を満たすと判断した「専任教員」を「基幹教員」とする場合は、ＡＣ教員審査を受審する必要はない扱いとしています。（改正後大学設置基準等の適用にあたり、「基幹教員」の担当授業科目を追加する場合、「基幹教員」の担当授業科目の内容を変更するなど、ＡＣ教員審査の受審を求めている事由が発生する場合は、ＡＣ教員審査を受審する必要があります。）
 - ・ ＡＣ教員審査の結果、「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
 - ・ 不要な年度（令和５年度開設であれば令和４年度以前）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(注) ・ 本様式は、当該国際連携学科等に所属し授業科目を担当する専任教員（同一の学部又は研究科内の他の学科又は専攻の専任教員（研究指導教員等）が兼ねて担当する場合も含める）について記入してください。

(2)－① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要研究指導教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数	完成年度時における設置基準上の必要研究指導補助教員数
4	3	3
名	名	名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文部省告示第百七十五号）により算出される教員数を記入してください。

(2)－② 専任教員等数【大学院】

設 置 時 の 計 画						現在（報告時）の状況					
教 授	准教授	講 師	助 教	計（A）	助手（A'）	教 授	准教授	講 師	助 教	計（B）	助手（B'）
22	21	5	23	71	0	24	24	2	19	69	0
(22)	(21)	(5)	(23)	(71)	(0)						
研究指導教員数	うち教授数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	うち教授数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数		
71	22	0	0			69	24	0	0		
(71)	(22)	(0)	(0)								
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教 授	准教授	講 師	助 教	計（C）	助手（C'）	教 授	准教授	講 師	助 教	計（D）	助手（D'）
24	24	2	19	69	0	22	21	5	23	71	0
[2]	[3]	[△3]	[△4]	[△2]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]
研究指導教員数	うち教授数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	うち教授数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数		
69	24	0	0			71	22	0	0		
[△2]	[2]	[0]	[0]			[0]	[0]	[0]	[0]		

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、（ ）内に開設時の状況を記入してください。
・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、
[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、
[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2)－③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告時（上記（B））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（C））の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
65	0	0
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2)－④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況（C）}}{\text{設置時の計画（A）}} = \frac{69}{71} = \boxed{97.18} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)－⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況（B）}} = \frac{0}{69} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)－⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況（C'）}}{\text{設置時の計画（A'）}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 基幹（専任）教員辞任等の理由

(注) ・ 本様式は、当該国際連携学科等に所属し授業科目を担当する基幹（専任）教員（同一の学部又は研究科内の他の学科又は専攻の基幹（専任）教員（研究指導教員等）が兼ねて担当する場合も含める）について記入してください。

(3)－① 基幹（専任）教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	基幹（専任）教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由						
1	准教授	一木 輝久	R4. 3	選択	博士論文研究ⅠA	①	R4. 3. 31付け退職のため就任辞退（４）						
				選択	博士論文研究ⅡA	①							
				選択	博士論文研究ⅢA	①							
				選択	博士論文研究ⅣA	①							
				選択	博士論文研究ⅤA	①							
				選択	博士論文研究ⅥA	①							
2	講師	出口 清一	R3. 9	選択	博士論文研究ⅠA	①	R3. 9. 20付け退職のため就任辞退（４）						
				選択	博士論文研究ⅡA	①							
				選択	博士論文研究ⅢA	①							
				選択	博士論文研究ⅣA	①							
				選択	博士論文研究ⅤA	①							
				選択	博士論文研究ⅥA	①							
3	講師	本山 宗主	R4. 3	選択	博士論文研究ⅠA	①	R4. 3. 31付け退職のため就任辞退（４）						
				選択	博士論文研究ⅡA	①							
				選択	博士論文研究ⅢA	①							
				選択	博士論文研究ⅣA	①							
				選択	博士論文研究ⅤA	①							
				選択	博士論文研究ⅥA	①							
4	講師	蔡 尚佑	R4. 3	選択	博士論文研究ⅠA	①	R4. 3. 31付け退職のため就任辞退（４）						
				選択	博士論文研究ⅡA	①							
				選択	博士論文研究ⅢA	①							
				選択	博士論文研究ⅣA	①							
				選択	博士論文研究ⅤA	①							
				選択	博士論文研究ⅥA	①							
5	助教	入澤 寿平	R4. 3	選択	博士論文研究ⅠA	①	R4. 3. 31付け配置換のため就任辞退（４）						
				選択	博士論文研究ⅡA	①							
				選択	博士論文研究ⅢA	①							
				選択	博士論文研究ⅣA	①							
				選択	博士論文研究ⅤA	①							
				選択	博士論文研究ⅥA	①							
6	助教	WANG Zhilei	R4. 2	選択	博士論文研究ⅠA	①	R4. 2. 18付け退職ため就任辞退（４）						
				選択	博士論文研究ⅡA	①							
				選択	博士論文研究ⅢA	①							
				選択	博士論文研究ⅣA	①							
				選択	博士論文研究ⅤA	①							
				選択	博士論文研究ⅥA	①							
7	助教	中村（竹内）真季	R4. 3	選択	博士論文研究ⅠA	①	R4. 3. 31付配置換のため就任辞退（４）						
				選択	博士論文研究ⅡA	①							
				選択	博士論文研究ⅢA	①							
				選択	博士論文研究ⅣA	①							
				選択	博士論文研究ⅤA	①							
				選択	博士論文研究ⅥA	①							
合計（D）						後任補充状況の集計（E）							
就任を辞退した教員数			担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）			
7	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	42	科目	選択	42	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	42	科目	計	42	科目	計	0	科目	計	0	科目

(注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての基幹（専任）教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。

・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことで、就任した後に辞任した教員は、以下「（3）－②基幹（専任）教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。

・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで基幹（専任）教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。

・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 基幹（専任）教員が担当する（している）場合は「①」
・ 基幹（専任）教員以外の教員（兼任兼担教員）が担当する（している）場合は「②」
・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3)－② 基幹（専任）教員辞任の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	基幹（専任）教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由						
1	助教	LIN Haosheng	R4. 10	選択	博士論文研究Ⅰ A	①	R4. 10. 25付け退職のため辞任（５）						
				選択	博士論文研究Ⅱ A	①							
				選択	博士論文研究Ⅲ A	①							
				選択	博士論文研究Ⅳ A	①							
				選択	博士論文研究Ⅴ A	①							
				選択	博士論文研究Ⅵ A	①							
2	准教授	乗松 航	R5. 3	選択	博士論文研究Ⅰ A	①	R5. 3. 31付け退職のため辞任（５）						
				選択	博士論文研究Ⅱ A	①							
				選択	博士論文研究Ⅲ A	①							
				選択	博士論文研究Ⅳ A	①							
				選択	博士論文研究Ⅴ A	①							
				選択	博士論文研究Ⅵ A	①							
3	講師	小川 登志男	R5. 3	選択	博士論文研究Ⅰ A	①	R5. 3. 31付け退職のため辞任（５）						
				選択	博士論文研究Ⅱ A	①							
				選択	博士論文研究Ⅲ A	①							
				選択	博士論文研究Ⅳ A	①							
				選択	博士論文研究Ⅴ A	①							
				選択	博士論文研究Ⅵ A	①							
4	助教	後藤 和泰	R5. 3	選択	博士論文研究Ⅰ A	①	R5. 3. 31付け退職のため辞任（５）						
				選択	博士論文研究Ⅱ A	①							
				選択	博士論文研究Ⅲ A	①							
				選択	博士論文研究Ⅳ A	①							
				選択	博士論文研究Ⅴ A	①							
				選択	博士論文研究Ⅵ A	①							
5	助教	服部 将朋	R6. 3	選択	博士論文研究Ⅰ A	①	R6. 3. 31付け退職のため辞任（６）						
				選択	博士論文研究Ⅱ A	①							
				選択	博士論文研究Ⅲ A	①							
				選択	博士論文研究Ⅳ A	①							
				選択	博士論文研究Ⅴ A	①							
				選択	博士論文研究Ⅵ A	①							
合計（F）						後任補充状況の集計（G）							
辞任した教員数			担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）			
5	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	30	科目	選択	30	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	30	科目	計	30	科目	計	0	科目	計	0	科目

- （注） ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての基幹（専任）教員**についてに記入してください。
（学年進行中に基幹教員の要件を満たさなくなったことにより、基幹教員でなくなった教員についても記入してください。）
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで**に**基幹（専任）教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 基幹（専任）教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 基幹（専任）教員以外の教員（兼任兼任教員）が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3)－③ 上記(3)－① ・ (3)－② の合計

合計（D）＋（F）				後任補充状況の集計（E）＋（G）							
辞任等した教員数		担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）		①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）			
12	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	
		選択	72	科目	選択	72	科目	選択	0	科目	
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	
		計	72	科目	計	72	科目	計	0	科目	

(3)－④ 設置時の計画に対する教員辞任率

(3)－③合計(D)＋(F)

(2)－②設置時の計画(A)

=

12

71

=

16.9

%

- （注） ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3)－⑤ 令和5年度報告書から、新たに辞任等した基幹（専任）教員等の状況

1

人

- （注） ・ (3)－①、(3)－②で赤字で記載した基幹（専任）教員数の合計数を記載してください。
 ・ **令和6年度開設の学科等の場合、（D）＋（F）と同数を記載してください。**

(3) 一⑥ 定年により退職した基幹（専任）教員に対する後任補充状況

番 号	職 位	基幹（専任）教員氏名	必修・選択・自由の別		担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由							
合 計						後任補充状況の集計								
辞任した教員数			担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）				
0 人			必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
			選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
			自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
			計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 定年により退職した全ての基幹（専任）教員についてに記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに基幹（専任）教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 基幹（専任）教員が担当する（している）場合は「①」
 - ・ 基幹（専任）教員以外の教員（兼任兼担教員）が担当する（している）場合は「②」
 - ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 基幹（専任）教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

教育に支障がないように専任教員を配置しているため学生への影響はない。
また、ガイダンス及び個別指導により学生へ周知している。

- (注) ・ 上記（3）の基幹（専任）教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
認 可 時 (令和4年)	・プログラムの着実な実施や相手大学の教員との緊密な連携の促進及びアカデミック・コーディネータの負担軽減の観点から、より組織的なサポート体制の構築に努めること。	【意見伺い】遵守事項 工学研究科において、本プログラムの支援体制強化のため、新たに支援教員1名、事務職員1名を配置した。合わせて、名古屋大学バンコクオフィスの協力を得て相手大学での学生支援を可能とした。これらの取り組みにより、相手大学の教員と学生の相互受け入れに関する打合せの実施、希望教員に対する相手大学教員とのマッチングを実施することができた。 加えて、国際連携専攻に対する全学的な支援として、総長裁量経費から当該専攻の専任の教員1名分の人件費措置を決定した。また、本学では新たな国際戦略のもと、国際化を推進するための運営支援を行う実務組織として、令和4年4月にグローバル・エンゲージメントセンターを設置し、その中に5つのチームを配置した。このうち、海外ネットワークチームのミッションとして「ジョイント・ディグリープログラムに関する調整・支援」を掲げ、同プログラムの充実に向けて、組織的なサポート体制を構築した。(4)	履行済
認 可 時 (令和4年)	・本専攻の教育内容について、本専攻の設置の趣旨や養成する人材像等を踏まえ、既設の専攻との違いや特色等を学内外生に対して適切に周知すること。	【意見伺い】遵守事項 本専攻の内容を示したHPの設置を準備している。(4) 本専攻の内容を示したHPを作成した。(5) 本選考の内容を示したHPを工学研究科の専攻案内のページにリンクさせた。(6)	履行済 記載内容は確定し、デザインを調整している。工学研究科のHP内での掲示部分は既に定め、2022年7月末にはHPの運用を開始する。(4) 工学研究科内のリンクを設定し、サイトにアクセスをしやすい様に修正を行う。入学者による研究成果など、記載内容の拡充を進める。(5) 入学者による研究成果などの記載内容を追加する。(6)
認 可 時 (令和4年)	・本専攻における教育課程を履修する上で必要となる英語能力について、その水準や具体的な内容をあらかじめ示すとともに、必要に応じて入学前後の教育を適切に行うこと。	【意見伺い】遵守事項 転専攻ならびに本専攻の募集要項に入学時の英語能力（以下のいずれかを満足すること。TOEFL iBT >45、IELTS >4.0、TOEIC公開テスト Listening & Reading >600）について記載した。口頭試問などの試験で英語能力が不十分と判断される場合には指導教員を中心とした入学後教育を実施することを決定した。また、本学では入学前後の教育として英語研修を企画し、国際連携専攻の学生（入学希望者を含む）のうち、希望者に対して、受講の募集・案内を行った。(4) 本専攻で必要となる英語能力を入学直後に実施する新入生ガイダンスにて周知し、担当職員による英語教育を実施する体制を構築した。(5)	履行済 入学後に修了要件となる英語能力（以下のいずれかを満足すること。TOEFL iBT >71、IELTS >5.5、TOEIC 公開テスト>700）を示し、本専攻で必要となる英語能力を入学直後に実施する新入生ガイダンスにて周知する。(4)

(注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。

- ・ 認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおりに記載してください。

【令和5年度報告書から記載内容に変更がある場合】

令和5年度報告書の記載内容を転記し文末に「(5)」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(6)」と記載してください。

【令和5年度報告書から記載内容に変更がない場合】

令和5年度報告書の記載内容を転記し文末に「(5) (6)」と記載してください。

【令和6年度から新たに調査対象となった学科等又は令和5年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】

「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(6)」と記載してください。

- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入してください。
その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。

- ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
- ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

＜名古屋大学・チュラロンコン大学国際連携サステイナブル材料工学専攻＞

（1）設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況, 今後の見通しなど
	日時：令和4年5月26日（木） 場所：online 参加者： 【名古屋大学側】 齋藤永宏専攻長、市野良一教授（入試担当）、澤田康之准教授、Chayanaphat Chokradjaroen助教 【チュラロンコン大学側】 Sirilux Poompradubプログラム長、Program Vice Chair Prof. Sojiphong Chatraphorn副プログラム長、Kanoktip Boonkerdプログラム庶務、Natthaphon Raengthonプログラム委員 議題： 学生募集について 共同研究について 学生の生活支援について 日時：令和5年2月3日（金） 場所：online 参加者： 【名古屋大学側】 齋藤永宏専攻長、市野良一教授（入試担当）、足立吉隆教授、澤田康之准教授、Chayanaphat Chokradjaroen助教 【チュラロンコン大学側】 Sirilux Poompradubプログラム長、Natthaphon Raengthonプログラム委員、Asst. Prof. Pichaya Rachdawong、Asst. Prof. Uthaiorn Suriyapraphadilok 議題： 入学試験 受験者：Ms. Tattanon Thamonwan 日時：令和5年5月1日（月） 場所：online 参加者： 【名古屋大学側】 齋藤永宏専攻長、市野良一教授、Chayanaphat Chokradjaroen助教 【チュラロンコン大学側】 Sirilux Poompradubプログラム長、Natthaphon Raengthonプログラム委員、審査委員 議題： Qualifying Examination 発表者：Hojung Yun 日時：令和5年5月31日（水） 場所：online 参加者： 【名古屋大学側】 齋藤永宏専攻長、市野良一教授、永岡勝俊教授、川角昌弥教授 【チュラロンコン大学側】 Sirilux Poompradubプログラム長、Kanoktip Boonkerd准教授、Sojiphong Chatraphorn助教、Jitti Kasemchainan助教 議題： 入学試験 受験者：Miss Chansinee Buaphet、Miss Kamonpan Manowilaikun、Miss Kumari Neelam 日時：令和5年10月11日（水） 場所：online 参加者： 【名古屋大学側】 齋藤永宏専攻長、永岡勝俊教授、川角昌弥教授、澤田康之准教授 【チュラロンコン大学側】 Sirilux Poompradubプログラム長、Kanoktip Boonkerd准教授、Prof. Nisanart Traiphol教授、Natthaphon Raengthon助教 議題： 入学試験 受験者：Miss Jurarat Yonchai、Mr. Peradon Phonglamiiakngam

	日時：令和5年11月30日（木） 場所：online 参加者： 【名古屋大学側】 齋藤永宏専攻長、市野良一教授、川角 昌弥 教授、澤田康之准教授、萩尾 健史助教 【チュラロンコン大学側】 Sirilux Poompradubプログラム長、Natthaphon Raengthonプログラム委員、Jitti Kasemchainan 助教、審査委員 議題： 中間発表（Proposal Examination） 発表者： Hojung Yun
	日時：令和6年1月17日（木） 場所：on-site 参加者： 【名古屋大学側】 齋藤永宏専攻長、澤田康之准教授、Chayanaphat Chokradjaroen助教 【チュラロンコン大学側】 Sirilux Poompradubプログラム長、Nisanart Traiphol副プログラム長、Kanoktip Boonkerdプログラム庶務、Natthaphon Raengthonプログラム委員 議題： 審査（評価の基準など）について 学生の生活支援について
	日時：令和6年2月15日（木） 場所：online 参加者： 【名古屋大学側】 齋藤永宏専攻長、市野 良一 教授、永岡 勝俊 教授、川角 昌弥 教授、旭 良司教授、足立 吉隆教授、澤田康之准教授、Chayanaphat Chokradjaroen助教 【チュラロンコン大学側】 Sirilux Poompradubプログラム長、Prof. Nisanart Traiphol教授、Natthaphon Raengthon助教 議題： 入学試験 受験者： Mr. Seonjae Baek
	日時：令和6年5月8日（水） 場所：online 参加者： 【名古屋大学側】 齋藤永宏専攻長、市野 良一 教授、永岡 勝俊 教授、川角 昌弥 教授、旭 良司教授 【チュラロンコン大学側】 Sirilux Poompradubプログラム長、Prof. Nisanart Traiphol教授、Natthaphon Raengthon助教 議題： 入学試験 受験者： Mr. Aung Thae Oo, Mr.Chayanon Atthapak
	日時：令和6年5月24日（金） 場所：online 参加者： 【名古屋大学側】 齋藤永宏専攻長、市野良一教授、川角 昌弥 教授、澤田康之准教授、Chayanaphat Chokradjaroen助教 【チュラロンコン大学側】 Sirilux Poompradubプログラム長、Natthaphon Raengthonプログラム委員、審査委員 議題： Qualifying Examination 発表者： Ms. Tattanon Thamonwan □

- （注）・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 大学設置基準第51条2項に規定されている連携外国大学との「協議の場」について、実施状況（開催日・議題等）を記載してください。

（２）教員の資質の維持向上の方策（ＦＤ・ＳＤ活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況：有

工学研究科名古屋大学チュラロンコン大学国際連携サステイナブル材料工学専攻会議

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

運営委員として登録されている教員が全員参加する専攻会議を月に一回程度開催する。

c 委員会の審議事項等

専攻会議では、入試、学生募集、安全管理、社会連携、カリキュラム・シラバス、履修、学位審査、修了判定等の大学院教育活動全般を審議する。また、授業アンケートの取りまとめならびに授業改善を検討する。

② 実施状況

a 実施内容

専攻会議では、入試、学生募集、社会連携、カリキュラム・シラバス、履修、学位審査、修了判定等の大学院教育活動全般を審議した。

教員の研究紹介も定期的の実施し、相互の理解やプレゼンテーション技術、他分野の知識を学んだ。

b 実施方法

上記の会議の機会に実施した。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

運営委員として登録されている教員が全員参加する専攻会議を月に一回程度開催した。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

上記実施内容を踏まえて、各教員が授業改善に努めた。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期：無

b 教員や学生への公開状況，方法等

（注）・「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

名古屋大学大学院工学研究科とチュラロンコン大学大学院は、長年の研究交流及び教育連携で培われた信頼関係を土台に、互いの教育・研究設備や資本を共有しながら、教育・研究及び学位の質を国際的に保証する学位システムとして、本専攻を令和4年4月に設置した。設置の認可から初年度入学者選考まで非常に短期間であったが、令和4年10月に本学の工学研究科の博士後期課程から1名が転専攻した。設定したアドミッションポリシーに沿って両大学共同で入学者を選考し、令和4年8月と令和5年1月にチュラロンコン大学を主大学とする学生が各1名入学した。令和5年4月には本学を主大学とする学生が1名、令和5年8月にはチュラロンコン大学を主大学とする学生が2名入学した。さらに、令和6年1月にチュラロンコン大学を主大学とする学生が1名、令和6年4月に名古屋大学を主大学とする学生が1名入学した。概ね順当に運営されている。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・令和6年10月 公表予定

b 公表方法

・第4期中期目標・中期計画の評価指標に基づく自己点検・評価を実施し、報告書を東海国立大学機構および大学ホームページ上で公表予定（令和6年10月を予定）。

③ 認証評価を受ける計画

・令和3年度に大学改革支援・学位授与機構の評価を受審し、認定を受けた。
令和10年度までの受審について検討中。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和6年度）

a 公表予定の有無 [☒ 有 ・ ☐ 無]

《aで「有」の場合》

b 公表（予定）時期 [☒ 調査結果公表後1ヶ月以内 ・ ☐ 公表後2～3ヶ月以内 ・ ☐ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [☒ ウェブサイトへの掲載 ・ ☐ その他 ()]

《aで公表「無」の場合》

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、
設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト上に公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。